

ひご はなしょうぶ
肥後花菖蒲

5月下旬～
6月中旬 **開花!!**



緑のマイスター てんとうむし 検索

肥後花菖蒲の特徴は？

他の花菖蒲とどこが違うの？
大きな花と立った大きな花芯
3枚か6枚の花英(花被)は大きく幅広い
花の中心が立ち 花容(花の形)が美しい

花の色は？

60%が白色系
白 紺 紫 紅 など



純色が優秀！
単色・絞り・覆輪・筋入りなど多彩

品種の数は？

満月会花銘録(2015年)の登録では
総計1296品種

肥後花菖蒲の歴史

肥後花菖蒲の始祖：吉田閏之助(1786～1870)
1830年代 熊本藩主 細川斉護の要望により、藩士吉田閏之助が江戸の旗本 松平左金吾(菖翁)の下で栽培の秘訣を習い、苗と種、『花菖蒲培養録』をもらい受けた
→ 「門外不出」を約束！
熊本で細川家家臣10数名により栽培開始(1826～ 「花連」十六日会：毎月16日の集会
1860年) 夜更けまでの会合でも満月の明るさで帰り道も提灯いらず 品種改良や増殖の各種技法が進歩
1886年 「満月社」結成 栽培に力を入れ、新花の作出が盛ん
1893年 「熊本花菖蒲満月会」と改称し、今日に至る

肥後花菖蒲の観賞

原則は 鉢植えで栽培し、
座敷に並べて観賞する！

- ①立って→ 斜め上から花芯に注目
 - ②離れて座って→ 花の形、色、葉、鉢、全体の姿を観賞
- 花の命は3日間！3つの楽しみ！**
1日目：開花 2日目：花が大きくなる 3日目：満開

庭園の花菖蒲を見に行こう！

松浜軒 約5000株の肥後花菖蒲が植えられています！
(八代市)
熊本市動植物園
水前寺成趣園
肥後細川庭園(東京)



鉢植えの展示 2023年

熊本城：城彩苑・二の丸お休み処 ※生育状況により、期間が異なる場合があります。
6月上旬～中旬ごろの午前中

満月会の門外不出の掟

-松平菖翁と吉田閏之助の固い約束と純品種を守るため-
苗、種はすべて満月会の所蔵、会員以外は近親者でも譲渡や分与は禁止、退会時にはすべて返却！

1910年代に東大名誉教授が肥後花菖蒲を調査し「日本国内はもちろん世界的にも類のない名花」と万国植物学会で報告
→ 世界の園芸界に広く知られるようになり
→ 1929年のパリ万博に「日本が誇れる花」としての出品を勧められたが、門外不出を理由に断った。
1930年には米国アイリス協会から苗の分譲を依頼されたが、会則に従い、応じなかった。

熊本花菖蒲(肥後花菖蒲)満月会 は「門外不出」を守り継承しています！松浜軒は満月会より唯一地植えを許されています。現在、数名の会員により純品種が守り継がれています。一般に「肥後系花菖蒲」として市販されている花は満月会のものではありません。



❁ **まず 花芯を見よ!**

大きな花芯(花の中央)

一重咲き 純粋な花色

花の特徴を見極めよう!

❁ **守り継がれる伝統と精神!**

肥後モッコスの精神で守られてきた

鉢植え・花壇・盆栽

栽培方法

仕立ての技法

鑑賞の作法

奥深い肥後六花の世界!

❁ **希少な 熊本の宝** ❁

さむらい

江戸時代の肥後の侍がつくった
熊本独自の6種類の伝統花



肥後芍薬



5月下旬~
6月中旬は

肥後花菖蒲



肥後椿



肥後朝顔

知ってる?
ひごろっか
肥後六花

2023 ひごはなしょうぶ
Vol.3 肥後花菖蒲



肥後山茶花



肥後菊

肥後六花についてもっと知ろう!

作成:熊本市緑のマイスター チームてんとうむし

私たちは肥後六花の保存・継承・発展を応援します!

緑のマイスター てんとうむし

検索

❁ **肥後六花を見に行こう!**

開花カレンダー (月)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<p>← 2月中旬~4月</p> <p>肥後椿 ひごつばき</p> <p>動植物園 水前寺成趣園 県民総合運動公園 農業公園 肥後細川庭園(東京)</p> <p>*[展示] 水前寺成趣園(3月上旬)</p>											
<p>← 4月下旬~5月上旬</p> <p>肥後芍薬 ひごしゃやく</p> <p>動植物園 水前寺成趣園</p> <p>肥後細川庭園(東京) 久宝寺緑地(大阪)</p> <p>*[展示] 塚原歴史民俗資料館・水前寺成趣園</p>											
<p>← 5月下旬~6月中旬</p> <p>肥後花菖蒲 ひごはなしょうぶ</p> <p>松浜軒 動植物園 水前寺成趣園 肥後細川庭園(東京)</p> <p>*[展示] 熊本城 城彩苑 水前寺成趣園</p>											
<p>← 7月~9月</p> <p>肥後朝顔 ひごあさがお</p> <p>*[展示] 水前寺成趣園 アスベクタ 高麗門 くまもと森都心プラザ 熊本城 動植物園</p>											
<p>11月中旬~12月初旬</p> <p>肥後菊 ひごぎく</p> <p>水前寺成趣園</p> <p>*[展示] 熊本城 旧細川刑部邸 くまもと森都心プラザ 肥後細川庭園(東京)</p>											
<p>11月~12月</p> <p>肥後山茶花 ひごさざんか</p> <p>動植物園 水前寺成趣園 県民総合運動公園 肥後細川庭園(東京)</p> <p>*[展示] 水前寺成趣園</p>											

* 展示は時期・会場の変更や開催中止になる場合があります。

* 肥後名花園(熊本城竹の丸)は熊本地震後、立ち入り禁止です。六花は城内展示等で観賞できます。



❁ **様々なもののデザインにも!**

マンホール:肥後椿
(熊本市上下水道局)

始まりは 1700年代

熊本藩6代藩主・細川重賢(1720-1785)が藩士の精神修養として園芸を奨励した。

1800年代:10代藩主・細川斉護(1804-1860)の時代藩士による愛好家グループ「花連(はなれん)」結成花の栽培法の確立や新品種の育成に励む

花・苗・種は「門外不出」!

1960(昭和35)年

天皇の天覧を機に四季を通して楽しめる6種類の花が決められた。



ここから「肥後六花」とよばれるようになった!